

## 14. 平成30年度てんかん診療拠点機関活動報告

広島大学病院てんかんセンター 飯田 幸治

### まとめ

- ・事業実施に当たり、具体的な取組みを行うためのワーキング組織を設置しているが、今年度は新たに1医療機関が参画しサブWG医療機関は9施設となった。活動としては昨年度から引き続きサブWG医療機関における患者調査、WEBカンファレンスでの症例検討、連携体制の仕組み作りを検討した。
- ・てんかん症例検討会を、UMICS（国立大学病院インターネット会議システム）を利用したWEBカンファレンスで行い、サブWG医療機関と広島大学病院との間で症例発表・検討を行うことで、てんかん診療のレベルアップとてんかん診療ネットワークの構築を図ることができた。
- ・教育関係者向け研修会、医療従事者向け研修会、医療職・福祉職を目指す学生向け研修会に加えて、新たに教育者・保護者向け研修会を行い、現場での適切な対応や診療医術のレベルアップを図った。
- ・普及啓発活動として、市民フォーラム、サンフレッチェ広島とのコラボレーションを行い、新聞にも掲載され、てんかんに対する関心と理解を高めるのに役立てた。
- ・事業の指標としててんかん患者調査を行った。

### 1. てんかん地域診療連携体制整備事業の概要

てんかん治療医療連携協議会だけでなく、具体的な取組みを行うためのサブワーキンググループ（3次診療施設（てんかん診療拠点機関）と2次診療施設（全二次医療圏域の中核となる医療機関）の医師13名で構成）を設置しているが、今年度新たに1医療機関が参画し、WEBカンファレンスでの症例検討会、連携体制の仕組み作り、サブWG医療機関における患者調査を行った。研修会としては、教育関係者向け研修会、医療従事者向け研修会、医療職・福祉職を目指す学生向け研修会に加えて、新たに教育者・保護者向け研修会を行い、また普及啓発活動として市民フォーラム、サンフレッチェ広島とのコラボレーションを行い新聞紙上にも掲載された。昨年度から引き続き、事業の指標としててんかん患者調査を行った。

### 2. てんかん地域診療連携体制整備事業活動報告

#### 1) てんかん治療医療連携協議会・サブWG

てんかん治療医療連携協議会を年2回開催し、事業計画の策定、事業効果の検証を行った。また、事業実施の具体的な取組みを行うためのサブワーキンググループ（WG）も年2回開催し、サブWG医療機関における患者調査、WEBカンファレンスでの症例検討、連携体制の仕組み作りを検討した。

#### 2) 遠隔てんかん症例検討会

広島県は広い地域に二次医療施設があり、そこに向いててんかん二次診療のレベルアップを図ることは困難である。UMICS（国立大学病院インターネット会議システム）を利用して遠隔カ



## 研修会実績(H30年度一覧)

### ●教育関係者向け研修会（日本てんかん学会GSK医学教育事業助成セミナー共催事業）

開催日	研修名	研修内容	対象者	参加人数
H30. 4. 25	広島県立三原特別支援学校での研修講演学習会	てんかん発作・発作時の対応について	特別支援学校教職員	45名
H30. 4. 26	広島県立尾道特別支援学校での研修講演学習会	てんかん発作・発作時の対応について	特別支援学校教職員	59名
H30. 7. 25	広島市立広島特別支援学校での研修講演学習会	てんかん発作・発作時の対応について	特別支援学校教職員	55名
H30. 7. 27	広島県立呉南特別支援学校での研修講演学習会	てんかん発作・発作時の対応について	特別支援学校教職員	80名
H30. 7. 30	広島県立広島中央特別支援学校での研修講演学習会	てんかん発作・発作時の対応について	特別支援学校教職員	50名
H30. 8. 7	広島県立庄原特別支援学校での研修講演学習会	てんかん発作・発作時の対応について	特別支援学校教職員	29名
H30. 8. 8	広島県立沼隈特別支援学校での研修講演学習会	てんかん発作・発作時の対応について	特別支援学校教職員	41名
H30. 8. 8	広島県立福山北特別支援学校での研修講演学習会	てんかん発作・発作時の対応について	特別支援学校教職員	80名
H30. 8. 8	広島県立福山特別支援学校での研修講演学習会	てんかん発作・発作時の対応について	特別支援学校教職員	54名
H30. 8. 22	広島県立広島北特別支援学校での研修講演学習会	てんかん発作・発作時の対応について	特別支援学校教職員	54名

### ●医療従事者向け研修会

開催日	研修名	研修内容	対象者	参加人数
H30. 6. 13	広島のとんかん診療を考える会	薬物治療、外科的治療、療養指導等のとんかん診療について	医師、医療関係者	57名
H30. 10. 20	てんかん脳波セミナー	脳波判読の基本	医師、医療関係者	122名

### ●医療職・福祉職を目指す学生向け研修会

開催日	研修名	研修内容	対象者	参加人数
H30. 4. 6	広島国際大学での講演会	広島国際大学（呉キャンパス）にて、てんかん患者に対する専門職種連携の重要性と疾患啓発の重要性について講演を実施した。（東広島・広島キャンパスにも同時中継）	広島国際大学1年生	約1000名
H30. 6. 19	広島文化学園大学での講義	広島文化学園大学看護学部看護学科にて、てんかんの講義を実施した。	広島文化学園大学看護学部看護学科3年生	116名

### ●教育者・保護者向け研修会（日本てんかん学会GSK医学教育事業助成セミナー共催事業）

開催日	研修名	研修内容	対象者	参加見込人数
H31. 2. 9	教育者・保護者向けセミナーin福山	学校や保育園・幼稚園におけるてんかんを持つ幼児・学童に対する理解とケア	学校教諭、養護教諭、幼稚園教諭、保育園保育士、関連保健師など	50～100名

6

## 4) 普及啓発活動

### ①市民フォーラム

広島市において「てんかんを考える～小児から高齢者まで～」と題して市民フォーラムを開催し、専門医による最新の治療法（難治性てんかんに対する外科治療）、小児てんかんの特徴や高齢者てんかんについての紹介や、各分野の専門の方と共にアドバイスをを行った。また、H31. 3. 31 呉市において2回目の市民フォーラムを開催する予定。

(H30. 10. 28 開催、参加人数 221名、初年度から通算開催回数 6回、参加人数 967名)

### ②サンフレッチェ広島とのコラボレーション

てんかん疾患に対する正しい理解を持ってもらうため、サンフレッチェ広島の本拠地・エディオンスタジアムにおいて、紫をチームカラーとするサンフレッチェ広島と広島大学病院てんかんセンターがコラボレーションし、てんかん疾患の啓発活動を行う予定。(H31. 3. 17 実施予定)

(活動内容) スタジアム前の広場に「てんかん疾患啓発ブース」を設置し、来場者にちらし・コラボ缶バッジを配布、横断幕へのてんかん患者への応援メッセージの寄せ書きをしてもらう。また、サンフレッチェ選手による応援ビデオメッセージを作成し、スタジアムで放映する予定。

(参考：H29年度ボランティア参加人数約 50名、ちらし・缶バッジ配布数約 3,000)

市民フォーラム 2018 入場無料 約300人参加者募集

# てんかんを考える

～小児から高齢者まで～

てんかんは発症率が増加する一方で、発症以降は適切な治療を受けることが重要です。正しい知識を得て適切な治療を受けることで、日常生活を豊かに過ごすことができます。

最新の治療法や発症から予防まで、専門医が最新の知見に基づいて講演を行います。

講演者

- ① 小児期に発症するてんかんの特徴  
広島大学病院てんかんセンター センター長 石川 暢博 氏
- ② 難治性てんかんの外科治療 ～小児から成人まで～  
広島大学病院てんかんセンター センター長 飯田 幸治 氏
- ③ 認知症や脳卒中に関連えられる高齢者てんかん  
脳神経センター 認知症診療 脳神経科 部長 風川 晋己 氏

ラウンドテーブルディスカッション  
～事前にいただいた質問内容に關して専門の先生方にご質問、ご意見をいただきます～

コーディネーター 広島大学病院てんかんセンター センター長 飯田 幸治 氏  
コーディネーター 広島大学病院てんかんセンター センター長 石川 暢博 氏  
コーディネーター 広島大学病院てんかんセンター センター長 飯田 幸治 氏

10/28 日  
13:30～16:00 (開場13:00)  
広島県立総合医療センター 1F HALL (ホール)  
広島市南区 二丁目3-2-1

協賛 日本てんかん学会 広島県医師会 代表 岩崎 孝 氏

協賛 広島大学病院 木内 良明 氏

5) 新聞報道

普及啓発活動は新聞に掲載され、てんかんへの関心を高めた。



6) 事業の指標 (てんかん患者調査)

①概要：地域のかかりつけ医（一次診療）から、専門医（二次診療）、地域診療において中核を担う三次診療の三者が連携し、患者が適切なてんかん診療を受けられるよう「てんかん診療ネットワーク」を構築することを目的に、広島大学病院とサブWG医療機関（9施設）において患者調査を実施し、診療状況、受診のながれの現状把握を行った。

②調査対象：てんかん病名（ICD10コード：G40，G41）がついた初診患者

※主にてんかんの治療を目的としている患者

※診療科 広島大学病院：脳神経外科，脳神経内科，小児科，精神科，救急科  
サブWG医療機関：脳神経外科，脳神経内科，小児科，精神科

③調査方法：診療録の調査

④調査期間：広島大学病院：平成27年12月1日～平成30年10月31日初診分

サブWG医療機関：平成28年7月1日～平成30年10月31日初診分

⑤調査項目：別紙参照

事業の指標(調査項目)			
項目	中項目	小項目	
患者属性等の調査項目	患者属性	性別	男 女
		年齢	0歳未満 0歳～14歳 15歳～24歳 25歳～34歳 35歳～44歳 45歳～54歳 55歳～64歳 65歳～74歳 75歳～84歳 85歳以上
	初診目的	病状改善	てんかんの診断
		手術目的	病状改善(手術)目的 手術目的
	患者への対応方法	経路	外来 入院(救急)
		外来へ入院	外来 入院(救急)
		外来での薬剤調整	外来 入院(救急)
		入院	外来 入院(救急)
		入院での薬剤調整	外来 入院(救急)
		手術	外来 入院(救急)
治療期間	治療期間	外来 入院(救急)	
	手術	外来 入院(救急)	
他科医との連携	小児科	外来 入院(救急)	
	精神科	外来 入院(救急)	
サブWGの調査項目	相談に関する調査項目	相談者の属性	性別 年齢 職業 相談内容 相談方法 相談場所 相談時間 相談回数
		相談内容	てんかんの診断 病状改善 手術目的 手術方法 手術場所 手術時間 手術回数
	紹介先に関する調査項目	紹介先区分	二次診療機関 三次診療機関 四次診療機関 五次診療機関 六次診療機関 七次診療機関 八次診療機関 九次診療機関
		紹介先所在地(県)	広島県 他県
	治療期間	治療期間	外来 入院(救急)
		手術	外来 入院(救急)
	外来へ入院	外来へ入院	外来 入院(救急)
		入院	外来 入院(救急)
	紹介先医療機関	紹介先医療機関	広島県 他県
		手術	広島県 他県